

新春インタビュー

一般財団法人 沖縄県社会保険協会
会長 金城棟啓



中村：本日は、沖縄県社会保険協会の金城会長にお話を伺います。

今回は、広報誌「社会保険おきなわ」新年号の企画ですので、新春にふさわしいご挨拶で始めてまいりたいと思います。

あらためまして、明けましておめでとうございます。

金城：明けましておめでとうございます。

読者の皆様には誌面を通してですが、共に新しい年を祝いたいと思います。

今年も皆様にとって、素晴らしい年になりますようお祈りします。

—— 社会保険協会について

中村：社会保険協会については、ホームページを閲覧して、最近の情報を知ることができませんが、そもそもどのような成り立ちなのでしょう。

金城：沖縄県の社会保険協会は、昭和50年1月に



■金城棟啓氏 1954年生まれ
1977年4月 琉球銀行入行
2012年4月 頭取就任
2017年4月 会長就任（現職）
2013年3月 沖縄県社会保険協会
会長就任
他数多くの団体役員兼任

設立されました。沖縄が本土へ復帰して3年目の年に設立されたことになりました。

他の都道府県に遅れること二十数年、県内の事業主の方々から協会設立の声が上がり、当時の琉球銀行頭取崎濱秀英氏が設立発起人代表となつて、多くの県内事業所の賛同を得、発足することができたということです。

中村：社会保険というと、年金や健康保険のこと、というのは知っていますが、社会保険協会はどのような事業をなさっているのでしょうか。

金城：ひと言でいえば、県民お一人おひとりが心豊かな社会生活を送るためのお手伝い、ということになるでしょうか。

具体的には、社会保険制度の普及・啓発のため「広報誌」の発行や事務講習会の開催など、社会保険の円滑な運営に資する事業をしています。

次に、健康づくり事業として、会員事業所職員への健康相談会や各種セミナー・イベントの開催、運動指導士や管理栄養士・保健師などの専門家による講習会へ講師派遣や健康づくりに関するDVDの無料貸し出しなどがあります。

中村：私も、昨年の7月に社会保険協会主催のセミナーで講師を務めました。那覇市内のホテルでの開催でしたが、「働き方改革セミナー」として、タイトルが「笑顔」のコミュニケーションなので、楽しくおしゃべりをさせていただきました（笑）。

金城：中村さんのセミナーに参加した方々、皆様も笑顔でお帰りになったと聞いています。聴講者にも有意義なセミナーだったでしょう。機会があれば、また、講師をお願いします。

先ほど話した事業以外にも、「福利厚生支援事業」として、全国宿泊施設（ホテル）の優待やレンタカーの割引が受けられるサービスがあります。また、年に2回ですが、家庭常備薬の斡旋もしていますので、会員事業所の方々には有効に利用してもらいたいと思います。

—— 日本の社会保障について

中村：社会保険協会の事業や活動について理解できたのですが、私たちの社会保障や社会保険については、よくわからないことが多いです。

金城：社会保障とは、「国民の生活の安定が損なわれた場合に、国民に健やかで安心できる生活を保障することを目的として、公的責任で生活を支える給付を行うもの」と定義されています。

日本の社会保障給付費は、平成28年度に、約116兆円で国家予算をはるかに超えています。その内訳は、概算ですが、「医療」が38兆円、「年金」が54兆円、介護など「その他福祉」が24兆円となっています。

中村：とても大きな給付額ですね。私達ひとり一人の税金や社会保険料が、多くの国民の生活を支えているということですね。

金城…そういうことができますね。その社会保障制度のなかの中核的存在が、年金や医療保険、介護保険などの社会保険です。

働く人が病気になる時には、医療保険があまりです。年を重ねて仕事から解放される老後には、年金を受け取れるようになります。また、高齢の方が、心身の状況によって日常生活に支障があれば、介護を受けることができます。

「人生100年時代」といわれるこれからは、社会保険の役割がますます大きくなると言えます。

— 沖縄経済の状況について

中村…このところ沖縄経済が好調だとマスコミ報道をよく耳にしますが、実際のところどうなのでしょう。

金城…沖縄県の県民経済計算によると、平成27年度の県内総生産は、実質4兆308億円で、経済成長率は3.3%の増加となっています。これは日本の国内総生産の実質経済成長率を2%も上回っています。

また、日本銀行那覇支店によると、県内景気は、5年以上拡大していると判断しています。

それを裏付けるように県内では、インバウンドなどの入域観光客数が増加し観光業が好調なこと、公共工事やホテル・大型商業施設の建築などに



により建設業が堅調に推移したと、また、個人消費の拡大などから高い経済成長率を示し、景気は拡大しています。

しかし、せっかくの好景気を活か

すの指摘もあります。というのは、平成27年度沖縄県の「一人当たり県民所得」は、約217万円で全国平均の7割弱の水準にとどまり、「沖縄県民の所得は、全国最低水準」といわれる所以です。

— 雇用環境と働き方改革について

中村…沖縄は好景気だと浮かれてばかりもいられないということですね。

金城…そうですね。新たに設立される事業所も増えていますが、雇用の面からみると、人手不足の状況になっています。

沖縄県の有効求人倍率は、平成29年から1倍をこえて推移していますし、平成30年7月には完全失業率が2.8%となり、復帰後の好景気に沸いた1974年2月以来44年ぶりに3%を割り込みました。

このような雇用環境の中、女性やシニア世代、業種によっては外国の方など、多様な人材が活躍できるダイバーシティー・マネジメントの推進が求められています。

また、企業にとっては、政府が押し進める「働き方改革」に対応しつつ、生産性の向上を通じて収益力を高め、働く人の待遇改善につなげることが課題であると言えます。

— プライベートについて

中村…銀行をはじめ、いろいろな団体で重要な役職に就いておられる金城会長ですが、お仕事以外に関心のあることや趣味のことについてもお聴かせください。

金城…広く浅い多趣味人間ですが、読書が一番好きです。最近、本を読まない若い人が増えていると聞いたので、銀行の役員食堂を無くして、社員が自由にくつろげる「談話室」を作りました。

壁一面が本棚で自由に借りて読んで良い事になっています。

その一角に「店長オススメ」棚をつくり十冊ほど並べていますが、最近のみんが本を読むようになって空っぽになっていくのが嬉しいですね。

あつ、店長は私です（笑）。

— 今年の抱負について

中村…最後になりますが、新しい年になりました。金城会長の今年の抱負をお聴かせください。

金城…昨年は、リーマンショックから10年、平成金融危機から20年という節目の年でもありました。大きな経済変動はありませんでしたが、地震、台風等自然災害が多い年でした。人生、何が起こるか分からない。企業経営者としても、「常に備えよ」と緊張感を持ち続けたいと思います。

また、「人生100年時代」は、社会保障制度がより重要になっていることを念頭に、当協会の活動をよりパワーアップさせていきたいと思っています。

中村…金城会長のポジティブなお話をお聴きして、私も勇気をもらいました。これからますます社会保険協会が面白くなりそうですね。

本日はお忙しい中、貴重なお時間をいただきまして、ありがとうございました。



■中村一枝氏
ラジオパーソナリティ
テレビ番組ナレーター
セミナー講師

